

授業科目名： 保健体育科指導法Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名：長岡邦子・ 高木 由起子・天利 公 一 担当形態：オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</li> <li>・問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</li> </ul>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保健体育科、「保健」の意義、目標と授業内容について説明ができる。</li> <li>(2) 保健体育科、「保健」授業の単元計画及び学習指導案作成のために、基本的な知識や評価規準について説明ができる。</li> <li>(3) 様々な指導法があることを理解し、グループワーク、実験や実習について積極的に取り入れることができる。</li> </ul>			
<p>授業の概要</p> <p>本授業では、自学自習の成果物としてレポートを提出する。また、対面授業としてのスクーリングも行う。レポートでは、中学、または高校の保健の教科書の中から単元（教材）を選択し、単元計画、評価規準、および学習指導案（1時間当たり）を作成する。授業を行う上で指導案を作成する事はとても重要である。授業の流れや内容を指導案作成する事によって授業のイメージを持つことができる。そのために、指導案作成をする習慣を身に付けていくことが必要である。スクーリングでは、保健の授業に関する講義、様々な授業方法についての講義、アクティブラーニングの手法を用いての講義、そして教科書を用いて「保健」の学習指導案を作成する。作成した指導案に沿って、全員が一人ずつ模擬授業を実施する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：教師の仕事とは何か。必要とされる教師の資質と能力</p> <p>第2回：教師としての具体的な仕事内容</p> <p>第3回：現代社会の健康問題（学校現場の場合について）</p> <p>第4回：現代社会の健康問題（社会全体を考えた場合について）</p> <p>第5回：保健の授業の重要性と必要性</p> <p>第6回：保健体育科、よりよい保健体育教師になるために</p> <p>第7回：保健の授業を展開していくための教師の必要行動（情報機器及び教材の活用を含む）</p> <p>第8回：単元計画と単元の評価規準についての理解</p> <p>第9回：学習指導案作成の仕方についての理解</p>			

第10回：様々な授業方法についての理解（アクティブラーニング手法を含む）

第11回：保健の授業内容（情報機器及び教材の活用を含む）の理解（現代の感染症・医療制度等）

第12回：保健の授業内容（情報機器及び教材の活用を含む）の理解（生涯を通じる健康・環境問題等）

第13回：学習指導案作成と模擬授業の実践

第14回：模擬授業の実践の振り返り

第15回：まとめ

定期試験：

スクーリングでは、すべての内容について包括的に取り上げる。

スクーリングでの学修内容

保健体育の教師として必要な資質や教師としての仕事内容、「保健」の授業内容について講義する。また、教科書・資料などを教材として用い、「保健」の授業を行うために必要な知識や方法を講義する。具体的には、実験、実習、グループワークなどの様々な授業方法があることを講義する。また、アクティブラーニングの手法を用いての授業も実施する。そのうえで、模擬授業を実践するための指導案の作成をする。（主に、5～15回の内容を含む。）

教科書

- 1、文部科学省「中学校学習指導要領解説 保健体育編」平成29年告示、東山書房
- 2、文部科学省「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」平成30年告示、東山書房
- 3、学校保健ハンドブック第7次改訂（教員養成系大学保健協議会）
- 4、教科書、最新、中学校保健体育 保体「703」大修館
- 5、教科書、現代高等保健体育、 保体「701」大修館

参考資料

- 1、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校保健体育）  
文部科学省 国立教育政策研究所（東洋館出版社）
- 2、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校保健体育）  
文部科学省 国立教育政策研究所（東洋館出版社）
- 3、新学習指導要領の展開 保健体育（中学校） 明治図書

学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。